



OLIVE ニュース 7月 2017

月刊紙

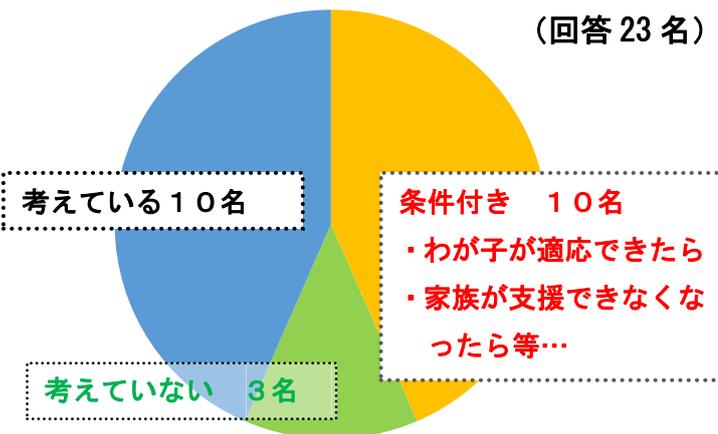
8月の予定 2日 東洋学園定例会議 5日 ミニ夏祭り・工賃支給

おりーぶ後援会 保護者部会 勉強会報告

7月22日(土)おりーぶ後援会保護者部が「親が高齢となり子の支援できなくなった時、親自身が亡くなった後、わが子にどのような生活をしてほしいか」について話し合いを持ちました。将来、きっと誰かの手助けを受けながら暮らしていくと思う反面、「それをイメージ出来ない」等、不安がぬぐえないため「まずは(どんな住まいだと安心して利用できるのか)を語りましょう」と呼びかけし意見交換を行いました。アンケート結果は下記です。他にも「医療ケアが受けられるグループホーム」「街中で活気がある立地にあるグループホーム」や「静かな場所が良い」「阿列布に通いやすい」など多くの理想が寄せられました。次回もグループホームをテーマに勉強会を行います。

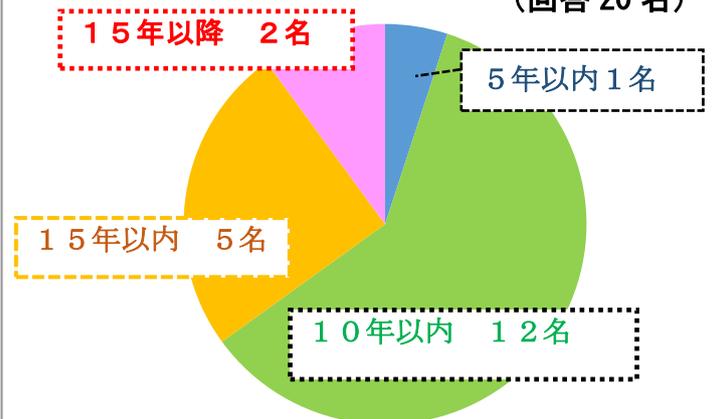
1・グループホームの利用を考えていますか

(回答 23名)



2・いつ頃にグループホームは必要ですか

(回答 20名)



疑問…障がい者が六十五歳になった時、通いなれた事業所をずっと利用できるのでしょうか？

介護保険に同様のサービスがあれば介護保険を使う事が優先となつていきます。ただし不足分、介護保険にないサービスだと「自治体の判断」で障害福祉サービスを上乗せできる余地が残っています。更に国は平成三十年年度に「共生型サービス」を行うための整備をすすめています。訪問、通所、ショートステイ等のサービスを介護や障がい、子育て、生活困窮といった既存の分野の垣根を越えて利用でき「地域共生社会」として環境を整えたいようです。

寄付、物品寄贈の皆様

土屋修二様 半田美江子様 金田静子様 石井マサ子様 矢吹町民生児童委員協議会様

ありがとうございました。